



鹿子の袖の朝露に 破れし窓の月影に 大悲の光り仰ぎつつ 六字のみ名を
よろこびし ああ上人のあとぞ尊し 幾たび炎くぐるとも きびしき風に終わるともいく
山川を踏み越えて すくいの道を伝えたる ああ上人の あとぞおおしき
商い人もすなどりも ひとしくともにへだてなく 御同朋と手をとりて
明るきいのちあふれたる ああ上人の あとぞ恋しき

「山科の路」より

5月15日(日)仏教壯年会総会が持たされました。

鈴鹿組組内の方々との交流で
もある念佛奉仕団、津の正覚寺
様との交流会も持ち続けていき
つつも、会員にどう行事に参



画いただけるか、バーベキューでは気軽に参加して
いただきたい。昨年度はご本山での御正忌報恩講に
参拝、嵐山での湯豆腐・散策は大変良かったとの声
が多かった。今年は近場での一日研修会を秋に企画
する。例会では、興味や身近な話題で会員だけでなく他の門信徒の方々にも参加してもらいたい。

5月7日(土)鈴鹿組仏教婦人会会長会議と5月8日(日)
存仁寺仏婦班長会が持たされました。



今年は鈴鹿組仏婦会長に丸橋さんに就任いただいたので所属寺である存仁寺が会場となり、議事審議が行われ



ました。それを受け、
存仁寺仏婦班長会です。
堀会長はじめ新役員と
今年の班長さんでの初めての会議でした。

その中で今年から、夏の墓地清掃は会員皆さままで執り行うことが話されました。7月30日
(土)7時30分。
お世話になります。



5月28日(土)曇り空の中、総代・世話方仏教壯年会の方々によるマキ刈り奉仕をしていただきました。垣の上、蘇鉄が大きくなっていますがきれいに刈り込んでいただきました。お疲れさまでした、ありがとうございました。



5月12日(木)無量寿会第1回例会が持たされました。



岡田さん調声で「正信偈」のおつとめ、井関会長よりご挨拶を兼ねてお話と、母の日にちなんでカーネーションのクラフトでジャンケンゲーム。盛り上がりました。

初夏らしい
お菓子をい
ただき、
ひとときの



おしゃべりタイムです。その後、住職より皆出席の方に送った色紙「現生十益」の話、と初夏の歌です。



「せっせっせーの
よいよいよい、
夏も近づく
八十八夜、トン
トン…」



平成二十年に現役を離れて早や八年の月日が瞬く間に過ぎ去りました。あーッと言う間の日々でした。ふと、振り返る時に、この間何をしていたのだろう、何も出来なかつた事を悔いる次第です。ところで、四月十四日には、九州熊本が活断層の大地震に見舞われ現在も震度四レベルの地震が続いています。惨状をテレビで見る度に心が痛みます。心よりお見舞い申し上げます。早い復興を心より願つてあります。テレビで惨状を見る度に、私が幼少時に観た映画（喜びも悲しみも幾歳月）を重ねて思い出します。小学校時に推薦映画として全校生徒が観賞しました。「喜びも悲しみも幾歳月」華やかに人の目に触れる仕事でなく、人知れずに実直に働く灯台守の人生を描いた映画でした。主人公が辿る数々の悲しい出来事、第二次世界大戦を経験し、息子を不良のケンカで刺殺され、転勤で単身赴任、愛娘が新婚旅行で向かう海路でのラストシーン、主人公の灯台守は愛情を込めた優しいライトを娘に送るシーンに共感して涙しました。その喜びに出遭つた主人公の灯台守は、この仕事を捨てずにつけて良かったと夫婦共に深い感慨に涙し、そのラストシーンを私は未だ忘れません。その撮影の舞台の一つが小樽市祝津岬（日和山灯台）と石狩海岸に在る歌碑に偶然に出逢えた喜びは一入でした。祝津海岸岬から見る大海原は絶景です。前述の映画と自信には関連もありました。言葉も少なく心に熱いものが流れました。せんが、災害を被つた方々には将来に希望を捨てずに強く生きて頂きたいとの思いが重なります。

北海道大島義勝さん

私が、この言葉を知つたのは小学生時
確か学校推薦にての映画鑑賞だった

監督は木下恵介、主演は佐田啓二・高峰秀子

俺は雑草



喜びも悲しみも幾歳月（昭和三十年）一九五七

内容は灯台守夫婦の生涯を描いた映画だ
私が感動した場面は、新婚旅行船上の
娘を遣い、見送る親子の絆に大泣き
灯台守主人公夫婦が、愚直に勤めて来て
本当に良かつたと深く涙ぐるものだった

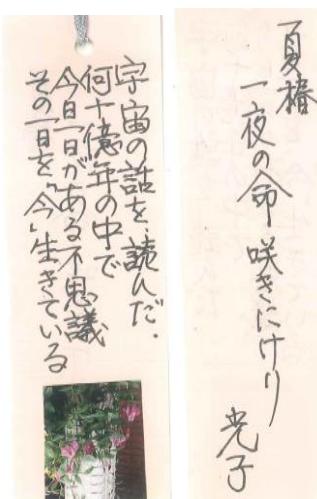
■それにもしても幼稚な表現と後悔した
他に心を表現する言葉が無かつたか
級友の寄せ書きは、柔らかく美しい
未だ見ぬ将来を明るく受け止めてる

幾つかの悲しみを乗り越えた先には必ず
喜びも待つ、我が身に重ねて願う

今年は、その撮影現場の小樽市祝津を訪ねた

■社会にて、その都度踏まれ除かれた
矢張りと言うか、私は雑草になつた
踏まれて除かれても強く起き上つた
恩師の言葉は「二十年後が楽しみだ」

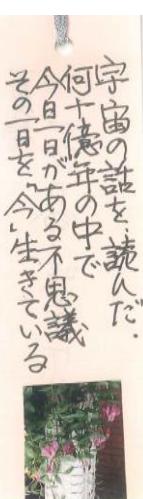
吾が意志を とことん張つて 松の芯
苔を置く 梵字の墓に 岩葉風
白雲を 掃きつくるしたる 新樹かな
惜しげなく 歳月流る 柿岩葉
年重ね 静かな暮し えんど飯
雨の日の 雨に馴じみし 手鞠花
夏蝶の 玻璃に息づく 通り雨
落合登代子



札幌市

大島

光子



朝倉市

大島

光子



朝倉市

森田

瑛子

さん

梅雨の季節に入りました。蒸し暑さに体調も崩れる頃
水分補給をしっかりと熱中症にもご注意を、くれ
ぐれもご自愛にて、お念佛ご相続ください。
合掌